

とうきょう すくわくプログラム 活動報告書

園名 江の島保育園
活動日 2025年11月24・28・31日
クラス名（年齢） ゆず組（1，2歳児）
年間テーマ 「感覚」

活動のテーマ「ふわふわとコロコロ」

〈テーマの設定理由〉

自由遊びの中で人形に愛着を持ち可愛がる姿や日常の再現がたくさん見られることや道路沿いに窓のあるクラスのため配達に来るトラックやゴミ収集車が日常的によく観察できることで、乗り物への関心がたかいことから、身近な世界について興味関心をさらに深めるためにこのテーマにした。

1. 活動スケジュール

- 11月24日 28日 31日に実施する。
- 室内の机上や棚上に設定し自由に遊べる環境を整えておく。
- 一人で集中し繰り返し試し探究できるようにする。
- 「どんな風に動いた？」「どんな音が聞こえた？」など問いかけ子どもの気づきを言葉で表現し共感する。
- 子どもが探求している姿を写真におさめる。
- 月のクラス会議で子どもの遊びの様子や反応、気づきを共有する。
- 活動内容の成果と評価を写真と共に記録に残す。

2. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ニックスロープ
- ジャンボジャンピングカートレイン
- ゴキロールバーン
- トレインカー
- 立ちテーブル

3. 探求活動の実践

<活動の内容>

- 壁付けの立テーブルの上に固定して設定しておく。ジャンボジャンピングカートレインは床に設定する。子どもが気付かずに試してみることから始める。
- 繰り返し試している姿を見守りながら「どんな風に動いている？」など問いかけし、子どもとの会話を楽しみ共感する。
- 一人でじっくり繰り返し試せるように保障する。
- 速さや動きを言葉に置き換え伝える
- 難しさを感じている子には置き方や、形を合わせること、方向などモデルを示しながら助ける。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

- トレインカーを1台ずつ走らせることから始め、数台を連結させ一気に走らせるなど目と手、両手を協応させながら試している。「すごい」と拍手して喜ぶ。
- ジャンボジャンピングカートレインは背伸びをして高い所からは知らせることを試している。「カタカタカタカタ」と音を言葉で表現しながら体も左右に揺らし体でも表現している。
- 高い所から始めすぐにしゃがみ最後のゴール地点を見て待つ子、追視しながら姿勢を変換し下げて子、後ろへ下がり全体が見えるようにして追視する子と子どもによって追視の仕方が様々であった。
- 「どうやったらきいろが1ばんまえにくるの？」と転がす順番を思考したり、思い通りにいかず球を取り出そうとする姿もあった。大人と一緒にやって見せヒントを出すようにした。
- 丸 三角 四角の形によって動きの速さや動き方の違いに気付く。「まる さんかく しかくい」など言葉で形を表す「カタカタ」「カッタンカッタン」など大人も言葉にして動きを表現する。

※写真



5. 振り返り

<振り返りによって得た気づき>

- 集中できるよう壁に向かって設定したことで一人でじっくり繰り返し試しながら遊ぶことができていた。
- 遊具が小さいことで微細運動の練習になっている。子どもたちが思考し試している姿がたくさん見られた。
- 追視の方法が様々で個々の発達段階を知ることができた。
- 形の違いで動きに変化が見られるが、形を合わせやすく滑らかに動く丸型を好む子が多かった。
- 同じ遊具を使っているけど、形を合せること 色の順番にこだわることなど認識の段階で子ども自身が自分の課題に合ったものを選び遊んでいることもみえた。